



# Silk Central 21.0

リリースノート

Micro Focus  
The Lawn  
22-30 Old Bath Road  
Newbury, Berkshire RG14 1QN  
UK  
<http://www.microfocus.com>

© Copyright 2004-2020 Micro Focus またはその関連会社。

MICRO FOCUS、Micro Focus のロゴおよび Silk Central は、Micro Focus またはその関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2020-11-13

# 目次

<b>Silk Central 21.0 リリース ノート</b> .....	<b>4</b>
<b>Silk Central 21.0 の新機能</b> .....	<b>5</b>
管理 .....	5
ダッシュボード .....	5
要件 .....	5
テスト .....	6
手動テスト .....	6
実行計画と実行 .....	7
レポート .....	7
Issue Manager .....	8
統合 .....	8
その他の機能の強化 .....	9
<b>システム要件および前提条件</b> .....	<b>10</b>
<b>解決済みの問題（機能拡張要求を含む）</b> .....	<b>12</b>
<b>Micro Focus へのお問い合わせ</b> .....	<b>13</b>
Micro Focus SupportLine が必要とする情報 .....	13
<b>テスト済みおよびサポートされているソフトウェア</b> .....	<b>14</b>
<b>サポートの終了</b> .....	<b>16</b>
<b>予定されているサポートの終了</b> .....	<b>17</b>

# Silk Central 21.0 リリースノート

## バージョン 21.0

以下の注記には、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。注記にはすべて目を通してください。

インストール、デプロイメント、およびライセンス管理に関する情報については、『[Silk Central インストールヘルプ](#)』を参照してください。

さらに支援が必要な場合は、[カスタマーケア](#) にアクセスしてください。

# Silk Central 21.0 の新機能

Silk Central 21.0 では、大幅な機能拡張と変更が導入されました。

## 管理

### プロジェクト アーカイブの確認

プロジェクトのエクスポートに失敗した場合に電子メールが送信されるようになりました。さらに、エクスポートしたプロジェクトのアーカイブに、エクスポート処理についての詳細な情報を含んだログ ファイルが追加されるようになりました。ログ ファイルの情報は、インポート時にアーカイブが有効かどうかを確認するためにも使用されます。

### ユーザー関連情報を除いたプロジェクトのエクスポートとインポート

本番環境プロジェクトからのエクスポートやインポートを容易にするため、エクスポートするプロジェクトからユーザー関連情報を除外できるようになりました。

### プロジェクトのコピーおよびベースラインの作成処理の改善

Silk Central 21.0 では、プロジェクトのコピーやベースラインの作成処理の実行を管理するようになりました。このようなタスクは、大量のリソースを消費する処理であるため、並列して実行されるべきではありません。システムが実行中の処理を検知ようになったため、このような状況を回避できます。

### AutoPass ライセンス管理

Silk Meter に加えて Micro Focus AutoPass ライセンス管理システムを Silk Central で使用できる世になりました。新しいライセンス サービスをインストールすることなく、既存のライセンス環境を使用できます。

## ダッシュボード

### ビジネス プロセス テストに関する追加情報の表示

現在実行中の手動テストのステータス パネルに、ビジネス プロセス テストの有用な情報である **次のビジネス コンポーネント** および **次の割り当て済みテスト担当者** が新しい列として追加されました。

## 要件

### ドキュメント ビューのパフォーマンス

要件の **ドキュメント ビュー** におけるプロパティの読み込みが最適化され、UI の応答性が向上しました。

### Excel インポートにおける親要件の変更

Silk Central 21.0 では、Excel ファイルから要件をインポートするときに、親を変更できるようになりました。これにより、Excel からインポートを使って要件を移動できるため、ファイルで要件を再作成する必要がなくなります。

## Office インポートと更新のマッピング スコープ

プロジェクトの数が増えてくると、マッピングの数も増えるため、マッピング ファイルの管理が困難になる場合があります。マッピング ファイルがプロジェクトごとに保存されるようになったため、現在のプロジェクトに対するマッピングだけが表示されるようになりました。

## 要件に対する問題の作成

テストに対して問題を作成するだけでなく、要件に対して問題を作成できるようになりました。これにより、問題追跡、フィルタ、レポート機能の適用範囲が広がりました。

# テスト

## ドキュメント ビュー：フィルタに基づいた計算値

テストの **ドキュメント ビュー** に表示される計算値が、ツリーに適用されているフィルタに基づいて計算されるようになりました。たとえば、親ノードのテスト数は、現在のフィルタによって絞り込まれた子テストのみを対象として計算されます。

## 実行グリッドでのステータス変更情報の表示

テスト実行のステータスをテストの完了後に変更した場合、このステータスの変更情報が、**実行** グリッドの **前のステータス** カラムと **ステータス変更コメント** カラムに表示されます。

## 手動テストからキーワード駆動テストへの一括変換

Silk Central 21.0 では、複数の手動テストをキーワード駆動テストに一括変換できるようになりました。この機能は、複数のテストを同じキーワード ライブラリを使って自動化するときに特に役立ちます。

## Office インポートと更新のマッピング スコープ

プロジェクトの数が増えてくると、マッピングの数も増えるため、マッピング ファイルの管理が困難になる場合があります。マッピング ファイルがプロジェクトごとに保存されるようになったため、現在のプロジェクトに対するマッピングだけが表示されるようになりました。

## テスト タイプ プラグインにおける数値プロパティのサポート

テスト タイプ プラグイン インターフェイスが数値プロパティをサポートするようになりました。これにより、カスタム プラグインで、数値を正しく扱えるようになります。

## 複数のテスト実行への問題の追加

同じテストの複数のテスト実行に対して既存の問題を追加できるようになりました。

# 手動テスト

## 合格した手動テストに対するステータスの理由の設定

失敗した手動テストに対してステータスの理由を設定する機能に加え、合格した手動テストに対してステータスの理由を設定できるようになりました。これにより、テスト結果を使って作業する際の情報を高めることができます。

# 実行計画と実行

## 実行データのダウンロード (XLSX)

Silk Central では、実行データに素早く簡単にアクセスする方法を提供します。**実行計画** ユニットの **実行** グリッドのデータを、Excel ファイルとしてダウンロードして保存できるようになりました。適用したフィルターや、並び替え、グルーピング、カラムの順番などは、Excel ファイル内のデータにも適用されます。

## 実行グリッドでのステータス変更情報の表示

テスト実行のステータスをテストの完了後に変更した場合、このステータスの変更情報が、**実行** グリッドの **前のステータス** カラムと **ステータス変更コメント** カラムに表示されます。

## テストの選択実行

実行計画に割り当てられているテストのうち、一部のテストを UI で選択して開始できるようになりました。割り当てを変更する必要はありません。

## 自動再実行

テストの実行ステータスが **失敗** や **未実行** で完了した場合に、自動的にテストを再実行するように Silk Central を設定できるようになりました。

## アクセスできない実行サーバーに対する処理効率の向上

前のバージョンの Silk Central では、アクセスできない実行サーバーに対する接続を試行する際に、それに対してスレッドが割り当てられていました。Silk Central 21.0 では、このような実行サーバーに対する処理効率を向上し、オーバーヘッドが低減されました。バックグラウンド スレッドを維持する必要がなくなり、アプリケーション サーバーの負荷が軽くなりました。

## 仮想実行サーバー上での分散実行

仮想実行サーバーを使った分散テスト実行もサポートされるようになりました。インフラに対する過負荷を避けるため、並列実行の数を制限できます。

## [現在の実行] タブからのテストの中止

**現在の実行** タブから直接実行を中止できるようになりました。**アクティビティ** ビューに移動する必要はありません。

## 完了したテスト実行への結果ファイルの追加

**テスト実行の結果** ダイアログで、完了した実行に結果ファイルを追加できるようになりました。これにより、テストの完了後にしか入手できないようなファイルも追加できます。

# レポート

## レポート配信登録の手動実行

レポート配信登録を定義したスケジュールに基づいて実行するだけでなく、UI から直接実行できるようになりました。この機能を使うと、レポート配信登録の設定時にレポートの確認を行うことができます。確認のために、スケジュールを設定して、実行されるまで待機する必要がなくなります。

## レポート API の呼び出し制限

レポート API の並列呼び出しの数を制限できるようになりました。これにより、API を使ってアクセスする外部プロセスが、システムのパフォーマンスや安定性に影響を及ぼすことがなくなります。

# Issue Manager

## 作成者プレースホルダー

Silk Central では、作成者プレースホルダーが指定できるようになり、通知ルールの作成や保守をより容易に行えるようになりました。

## 100 個の状態のサポート

**問題追跡** グリッドの **状態** カラムのフィルタに、100 個までの状態が表示されるようになりました。この数を超えると、フィルタはテキスト フィールドになります。

## 受信箱のクリーンアップ

空の受信箱、ユーザーに割り当てられていない受信箱、ワークフローで使用されていない受信箱を、簡単にクリーンアップできるようになりました。クリーンアップ時に、受信箱を非アクティブ化するか、削除するかを選択できます。

# 統合

## Kubernetes

Silk Central 21.0 に追加された新しい Kubernetes プラグインを使用すると、Kubernetes API を使ってアクセスできるクラウド エコシステムと統合することができます。これにより、Kubernetes ポッドを仮想実行サーバーとしてテスト実行に利用できるようになります。

## Microsoft Teams

Silk Central と Microsoft Teams との統合は、プロジェクトに対して作業しているテスト担当者が手動テストを行う際の協調作業に役立ちます。あらかじめ定義されたアクションに対応するメッセージが Microsoft Teams に送信されます。手動テストを進行する上で重要なメッセージが表示され、Silk Central の対応するアイテムに移動するためのリンクや、手動テストを実行するためのリンクなどが含まれています。

## LoadRunner

Silk Central 21.0 では、LoadRunner テストがサポートされるようになりました。LoadRunner プラグインを使うと、LoadRunner シナリオの実行と分析をシームレスに行うことができます。

## Git

Git プロファイルの設定に SSH URL を使用できるようになりました。これにより、ユーザー名とパスワードの設定は必須ではなくなります。また、Silk Central サーバー上にインストールされた Git CLI を使用するよう設定することもできます。CLI を使用すると、リポジトリのシャロー クローンが作成されるため、パフォーマンスが改善する可能性があります。

## IBM Rational DOORS

IBM Rational DOORS プラグインが Axis に依存するサービスを使用しなくなりました。IBM Rational DOORS 統合では、内部の Axis Web サービスを使用しません。また、DOORS 統合が、ビューとベースラインをサポートするようになりました。



### **Micro Focus Connect**

Micro Focus Connect コネクタが Axis に依存するサービスを使用しなくなりました。

### **Atlassian Jira Software**

Silk Central 21.0 では、Atlassian Jira Software Cloud のサポートが強化され、next-gen プロジェクトをサポートするようになりました。next-gen プロジェクトを問題追跡システム統合、および要件管理システム統合の両方で使用できるようになりました。また、Atlassian Jira Software Cloud のプロジェクトタイプに関する制約が撤廃されました。

## **その他の機能の強化**

### **ALM/Quality Center からの移行**

Silk Central が ALM/Quality Center データベースからの移行をサポートするようになりました。

### **Oracle データベースのサポート**

Silk Central が Oracle 19c データベースをサポートするようになりました。

# システム要件および前提条件

Silk Central の最適なパフォーマンスのために、このセクションで概要を説明する構成をお勧めします。自作機 (ベアボーンキット、ショップブランド機を含む) は動作保証外です。

## サーバー システムの要件

システム領域	要件
CPU	2 コアの Intel Core i5、またはより高性能な CPU
メモリ	最低 8 GB
空きディスク容量	最低 30 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit
オペレーティング システム、データベース管理システム、Web サーバー	「 <a href="#">テスト済みおよびサポートされているソフトウェア</a> 」を参照してください。
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)

インスタンスを追加する場合、それぞれのインスタンスに対して 10 GB のディスク容量と、以下のメモリが最低必要になります。

- フロントエンド サーバー : 768 MB
- アプリケーション サーバー : 640 MB
- チャート サーバー : 200 MB

作業内容に応じて、これらの値はより高くなる可能性があります。

Silk Central の適切な構成の詳細については、テクニカル サポートまたはテクニカル アカウント チームにお問い合わせください。

## 実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象アプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、Silk Performer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、Silk Test の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 2048 MB のメイン メモリが推奨されます。

Linux 実行サーバーは、Java Runtime Environment 1.8 の最新バージョンが必要です。

## プロキシ サーバーの要件

Silk Central で Microsoft IIS を使用する場合は、Silk Central をインストールする前に、次の IIS 拡張機能をインストールする必要があります。

- Application Request Routing (ARR)
- URL Rewrite

[IIS Downloads](#) ページから、これらの拡張機能の最新版をダウンロードできます。

## 仮想化

Silk Central は仮想インフラストラクチャ環境 (VMware vSphere サーバー) での実行がテストされています。

## クライアント側のシステム要件

システム領域	要件
プロセッサ	Intel Core i3、またはより高性能な CPU
メモリ	2 GB
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"><li>• Google Chrome</li><li>• Internet Explorer 11 以降 (互換モード以外)</li><li>• Mozilla Firefox</li><li>• Microsoft Edge</li></ul>

手動テスト UI は、Java Runtime Environment 1.8 の最新バージョンが必要です。Internet Explorer 11 を使った手動テストでは、32 ビット版の Java をクライアント上にインストールする必要があります。

# 解決済みの問題（機能拡張要求を含む）

解決された問題と、実装された機能拡張要求を以下に示します。

SI #	RPI #	説明
		キーワード駆動アーカイブに MANIFEST ファイルが含まれていないと NullPointerException が表示される
		パフォーマンスの改善： 実行グリッドのユーザー読み込みの最適化
3224265	1120404	メンテナンス モード時にブラウザー ページの表示が繰り返し更新される
3229364	1120432	機能拡張要求： <b>問題追跡</b> グリッドの状態フィルタに表示される状態数の上限を 100 に増やす
3229225	1120423	ヘルプ > バージョン情報 ページの情報が正しくない
3228761	1120475	要件の <b>ドキュメント ビュー</b> のパフォーマンスが悪い
3231224	1120598	XLSX からテスト計画をインポートしたときに、要件 ID の型の違いによるエラーが発生する
3228786	1120384	要件を Excel ファイルからインポートまたは更新したときに、フラグの状態に誤りがある
3232058	1120723	Issue Manager の機能 <b>ユーザー割り当て時に受信箱を自動生成する</b> が期待通り動作しない
3232380	1120721	UI 上での要件の編集が期待通り動作しない
3232379	1120809	リストベースのカスタム プロパティと属性のメモリ消費量が原因で、Silk Central がフリーズする
3231299	1120811	<b>ユーザーに割り当てられた手動テスト</b> パネルでタイムアウトが発生する
3230803	1120570	<b>割り当ての削除</b> が無効になる。コマンドは有効で、廃止要件から割り当てを削除することもできる
3151942	1113850	実行計画 > 配置 > キーワードの割り当てで、プロジェクトに割り当てられていないロケーションの実行サーバーを表示するべきではない
3238159	1121264	実行計画スケジュールの除外期間が正しく機能しない

# Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように、Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマー サポートを受けることができます。高度なトレーニングを積んだスタッフが、お客様の質問にできる限り迅速かつ専門的にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを [supportline@microfocus.com](mailto:supportline@microfocus.com) に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

## Micro Focus SupportLine が必要とする情報

Micro Focus SupportLine をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus SupportLine はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- お客様のシリアル番号


これらの番号は、Micro Focus から受け取った Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文に記述されています。

# テスト済みおよびサポートされているソフトウェア

このセクションでは、Silk Central 21.0 がテストされたソフトウェア、および Silk Central がサポートするソフトウェアの一覧を示します。

## サポートするオペレーティング システム

- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019
- Microsoft Windows 8.1 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Microsoft Windows 10 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Android 5.x、6.x、7.x、8.x、9.x、10.x (モバイル デバイスのテスト)
- iOS 10.x、11.x、12.x、13.x (モバイル デバイスのテスト)

 **重要:** 「[Windows での汎用の C ランタイムの更新プログラム](#)」は、すべての Microsoft Windows オペレーティング システムで必要です。Microsoft Windows Server 2016 以降の場合、**Windows Server (デスクトップ エクスペリエンス)** インストール オプションを選択する必要があります。

## サポートする Linux オペレーティング システム

Silk Central は、次の Linux オペレーティング システムを実行サーバーに限りサポートします。

- Debian
- Red Hat Enterprise Linux
- SUSE Linux
- Ubuntu

## サポートする Web ブラウザ

- Google Chrome
- Internet Explorer 11 以降 (互換モード以外)
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge

## サポートする Web サーバー

- IIS 8 32 ビット/64 ビット
- IIS 10 32 ビット/64 ビット

## サポートするデータベース管理システム

- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 3
- Microsoft SQL Server 2016 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2017
- Microsoft SQL Server 2019
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)。Oracle RAC はサポート対象外です。
- Oracle 12c (バージョン 12.2.0.1)。Oracle RAC はサポート対象外です。
- Oracle 19c (バージョン 19.3.0.0)。Oracle RAC はサポート対象外です。

### サポートする統合された Micro Focus ソフトウェア

- AccuRev 7.5
- Caliber 11.4、11.5
- LoadRunner Professional 2020
- Silk Performer 21.0
- Silk Test 21.0
- Silk TestPartner 6.3
- StarTeam 15.x、16.x、17.x
- UFT Developer 15.0
- UFT Mobile 2.51 以降
- UFT One 15.0

### サポートする統合されたサードパーティ ソフトウェア

- Apache Commons Virtual File System ( VFS )
- Atlassian Jira Software 7、8 (バージョン 7 はテストしていませんが、サポート対象です)
- Atlassian Jira Software Cloud
- Bugzilla 4.4.13、5.0.4
- CA Agile Central
- Git 2.20.1
- IBM Rational ClearQuest 8.0 (テストしていませんが、サポート対象です)
- IBM Rational DOORS 9.5、9.6
- IBM Rational DOORS Next Generation 6.0
- JUnit 4.x、5.x
- Java Runtime Environment 1.8 の最新バージョン
- Microsoft Office Excel (.xlsx) (テストと要件のインポート用)
- Microsoft Office Word (.doc、.docx) (要件のインポート用)
- Microsoft Visual Studio / Visual Studio Test Agent 2015
- NUnit 2.6.4、NUnit Console/Engine 3.8
- Subversion 1.9
- Team Foundation Server 2015、2017
- VersionOne Enterprise Edition
- VMware vCloud Director 5.5

# サポートの終了

次の機能は、Silk Central 21.0 ではサポート対象外になりました。

- Microsoft Windows Server 2012
- Atlassian Jira Software 6



# 予定されているサポートの終了

このセクションでは、将来のリリースではサポートされなくなる予定の Silk Central の機能を示します。

## IBM Rational DOORS

将来のリリースでは、IBM Rational DOORS はサポートされなくなる予定です。その代わりに、Silk Central は IBM Rational DOORS Next Generation をサポートするようになりました。

## オペレーティング システムのサポート

以下のオペレーティング システムは、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Microsoft Windows Server 2012 R2

## データベース管理システムのサポート

以下のデータベース管理システムは、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 3
- Oracle 11g
- Oracle 12c

## 要件管理システムとの統合

以下の要件管理システムとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Caliber
- IBM Rational DOORS
- Atlassian Jira Software 7
- VersionOne Enterprise Edition
- CA Agile Central

## 問題追跡システムとの統合

以下のサードパーティ製問題追跡システムとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Atlassian Jira Software 7
- Bugzilla 4.4.13
- IBM Rational ClearQuest
- Team Foundation Server 2015

## ソース管理システムとの統合

以下のサードパーティ製ソース管理システムとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Team Foundation Server 2015

## クラウドとの統合

以下のサードパーティ製クラウドとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- VMware vCloud

### **モバイル デバイス プロバイダとの統合**

以下のサードパーティ製モバイル デバイス プロバイダとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Sauce Labs

### **Microsoft Office インポートとの統合**

以下の Microsoft Office インポートとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Microsoft Office Word (.doc)

### **Web サービス**

次の URL からアクセスするサービスは、将来の Silk Central リリースでサポートされなくなる予定です。

- <https://<ホスト名>/services>
- <https://<ホスト名>/Services1.0/services>

次の新しいサービスを使用してください。

- <https://<ホスト名>/Services1.0/jaxws>

### **SAP Solution Manager**

以下の SAP Solution Manager のバージョンは、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- SAP Solution Manager 7.2